

～南和地域の医療と健康に関する情報誌～

はぴねすだより 19号



南奈良総合医療センター 救急センターで
実習を行う救急救命士(写真左)

今号の内容

1. 救急救命士病院実習
2. 新型コロナワクチンを考える
3. 専門外来紹介 (ストーマ外来)
4. リウマチ・運動器疾患センター



南和広域医療企業団

～南和の医療は南和で守る～

救急救命士 病院実習

南奈良総合医療センター
救急センター

救急医療を効率的にスムーズに行うためには、病院前と病院内と病院後のシームレスな連携が重要であると考えます。病院前医療の中でも救急救命士の役割は大きく、救急車の要請をした患者さんに最初に接する立場上、その判断により時に患者さんの予後に大きく影響を及ぼすこともあります。

このような観点から救急救命士の教育と救急センターとの良好な関係性の構築は地域の救急医療の重要課題であります。この課題に対して2017年度より当院救急センターにおいて奈良県広域消防組合の救急救命士を中心として研修を行っています。

毎年50～60人の救急救命士を受け入れ、各自週32時間のマンツーマンの実践的な研修を行いスキルアップを目指しています。当院は地域の医療・介護人材の育成と教育機関としての役割も担っているため、患者さんには一定のご理解とご協力をお願いしながら医師・看護師が付きっきりで救急救命士に高密度の研修を行い、高い評価を頂いております。また年2回の合同カンファレンスを開催し、救急救命士、医師、看護師等の症例発表で十分な議論を行った後は交流会を開催し「顔の見える関係」の構築をはかっています（昨年度からはコロナ禍のため残念ながら中止しております・・・）。

今年度はコロナ禍を逆に好機としてとらえ、感染予防対策のマニュアルを作成しその解説と個人感染防護服の着脱の実技指導を新たに加え、タイムリーなニーズに応える研修を行っています。そして年度末には「振り返り会議」を開催して改善点を検討し次年度研修のレベルアップに繋げています。住民の皆様には地域の救急医療の向上と人材育成に今後もご理解とご協力をお願いいたします。

南奈良総合医療センター
副院長・救急センター長 石田泰史

救急救命士とは？

救急救命士は、救急車等に乗車し、急病人やけが人を医療機関へ搬送する間に、傷病者を観察し必要な処置を施す「病院前医療」を担います。

従来、傷病者に対しての医療行為は、医師のみにしか許されておらず、救急隊員が処置を行うことはできませんでした。しかし、救命率の向上を目的とし、医師以外でも緊急時に救命処置を行うことができるよう、救急救命士の資格が作られました。

救急救命士ができる医療行為

救急救命士法施行規則の改訂により救急救命士が行える行為の範囲が段階的に拡大されています。認定救急救命士制度に基づき、一定の教育・課程を修了した認定救急救命士のみが医師の具体的指示のもと救急救命処置（特定行為）を許可されています。



現在は心肺機能停止状態の傷病者への「気管挿管」「薬剤投与(アドレナリン)」「ビデオ喉頭鏡を用いた気管挿管」「薬剤投与(ブドウ糖溶液)」、「心肺機能停止状態でない傷病者に対する静脈路確保」が認められています。

医師・看護師の監督・指導のもと、静脈路確保の実習を行っている様子（写真右側の白衣が認定救急救命士）

新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、開催形式が変更となる場合がございます。
詳しくはホームページにてご確認ください。



第59回

全国自治体病院学会in奈良

県民公開講座

会場

なら100年会館

日時

2021年11月5日(金)
13:40~15:40

入場無料・予約不要

The 59th Annual Congress of JMHA in NARA

学会テーマ

地域医療を守る ～チームで挑む再生と未来～



13:40~14:40

「患者と医療者が協働する
医療を目指して」

講師

山口 育子

認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML理事長

1965年大阪生まれ。自らの患者経験を経て1991年秋、COMLと出会い、1992年2月COMLスタッフとなり、相談、編集、渉外などに携わる。2002年COMLのNPO法人化とともに、専務理事兼事務局長に就任。2011年8月より理事長。社会保障審議会医療部会をはじめとする数多くの厚生労働省審議会・検討会の委員を務めている。2018年6月20日に『賢い患者』(岩波新書)刊行。

座長/菊池 英亮 地方独立行政法人 奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター 院長



14:40~15:40

「奈良時代の医療と薬
～聖武天皇と光明皇后～」

講師

西山 厚

半蔵門ミュージアム館長 帝塚山大学客員教授
奈良国立博物館名誉館員

徳島県鳴門市生まれの伊勢育ち。京都を経て、奈良在住。京都大学大学院文学研究科博士課程修了。専攻は日本仏教史。奈良国立博物館で学芸部長として「正倉院展」「女性と仏教」など数々の特別展を開催。主な著書に『仏教発見!』(講談社現代新書)、『僧侶の書』(至文堂)、『語りだす奈良 118の物語』『語りだす奈良 ふたたび』『仏像に会う 53の仏像の写真と物語』(いずれもウェッジ)など。テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、オンライン講座、SNSなど、さまざまなメディアや媒体を通して、奈良の仏教文化を中心にした日本の歴史文化について、生きた言葉で書き、語る活動を続けている。

座長/松本 昌美 南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター 院長

お問い合わせ先

第59回全国自治体病院学会 運営事務局

株式会社コンベンションリンケージ内
TEL:06-6377-2188 FAX:06-6377-2075

〒531-0072 大阪市北区豊崎3-19-3 PIAS TOWER 11F
E-mail:59jmha@c-linkage.co.jp



県民公開講座のご案内

この講演は、全国自治体病院学会の県民公開講座として開催するもので、入場は無料・事前のご予約も不要です。当日は、なら100年会館の1階受付(13:00より受付開始)にて入場の手続きをお願いいたします。なお、当日マスクの着用は必須となります。マスクを着用されない場合、入場をお断りいたしますので、あらかじめご了承ください。

アクセス詳細情報



お車でお越しの方

奈良市営JR奈良駅(西口)地下駐車場(有料)をご利用ください



電車でお越しの方

近鉄線 ●新大宮駅から徒歩15分
●奈良駅からバスで約5分 徒歩約20分
JR線 ●JR奈良駅西側から徒歩約5分



バスでお越しの方

奈良交通バス ●「JR奈良駅」停留所で下車
JR奈良駅西側より徒歩約5分

自治体病院とは

主に開設者が都道府県・市町村・地方独立行政法人にあたる公的医療機関を自治体病院と言い、全国に8,500施設存在する医療施設の中で約11%の施設数、病床ベッド数では約14%を占めます。

私どもは、都道府県におけるセンター的病院として、あるいは広域圏における中核病院として、一般的医療水準の向上に努めるとともに、高度・特殊医療・救急医療・へき地医療、さらには医師・看護師等医療従事者の教育・研修にも積極的に取り組んでいます。

自治体病院は行政機関や他の医療機関などと連携し、地域に必要な医療を公平・公正に提供し、住民の生命と健康を守ることを使命としております。この使命を達成するための行動指針として5つの項目を挙げております。今後とも、これらの行動指針に従い、病院運営に努めてまいりますので、県民の皆様への自治体病院への一層のご理解とご協力、そしてご支援を賜ればと思っています。

自治体病院の行動指針



奈良県の自治体病院

奈良県内には11の会員病院があり、地域の中核病院として総合的一般医療のほか、がんなどの高度医療や救急医療、新型コロナウイルスなどの感染症医療、さらには一部の病院では訪問診療まで、それぞれの地域のニーズに応じて、日夜努力しています。

全国自治体病院協議会 奈良県支部 会員病院



新型コロナワクチンを考える

南奈良総合医療センター 感染症内科 宇野健司

非常に感染力の強いデルタ株は世界中で猛威を振るっており、2021年8月、この原稿を作成している時点で奈良県内でもデルタ株の患者が多く発生しています。

今回の株は幅広い年齢層、特に小児も含めた多くの若者に広がっています。中国からの報告によると、この変異型の感染力は武漢で流行した時に比べ1000倍にも達しているそうです。マスクを装着する事がマナーになっているこの日本で百貨店地下を中心にクラスターが発生しました。このクラスターはマスクだけでは不十分であるほど感染力が強い事を裏付けているのかもしれませんが、それだけに打開策としてワクチンの普及は不可欠と考えられます。

我々南和広域医療企業団は『1人でも多く、1日でも早く』地域の住民・通院中の患者様にワクチンを届けるため行政の方々と共に接種を推進してきました。また、住民の皆様にはワクチンに関する情報を少しでもアップデート出来る様に行政HPにも意見を掲載して頂きました。

ワクチンを接種する事により、コロナの感染を防ぎ、たとえ発症しても重症化せず、後遺症を残さない事が期待されています。さらにワクチンは他の方への感染も防ぐ可能性があり周りの大切な人を守る事にも繋がります。

これらから考えると、ワクチン接種にはリスクを遙かに上回るメリットがあると考えられます。打つ事を躊躇されている方は是非接種を前向きに考えていただければと思います。



専門外来 紹介

ストーマ外来（南奈良総合医療センター）

◆ストーマ外来って？

ストーマ(人工肛門・人工膀胱)を造設されたかた(オストメイト)が、より快適な日常生活を送ることができるようストーマに関して専門的な相談に応じる外来です。(保険診療)



◆ストーマ外来ではこんなことができます

- ・ストーマやケア状況の定期確認
- ・ストーマに関する日常生活への悩みや不安への対応
- ・皮膚障害の対応やケア方法
- ・ストーマや腹壁の状況に応じた装具選択やアクセサリの紹介
- ・社会資源や関連部署との調整
- ・ストーマケアに関するご相談、指導 など

■対象者

- ・当院でストーマを造設された方
- ・当院以外でストーマを造設された方(外科・泌尿器科の受診が必要です)

■場所・日時

- ・外科外来
- ・第4木曜日 9:00～14:00(予約制)
- その他、臨時での対応は電話にてご相談ください

■持参していただくもの

普段使用しているストーマ装具

■担当

皮膚・排泄ケア認定看護師

■ストーマケアの際、以下の内容を行ないます

- ・実際にお腹を触ります
- ・ストーマサイズを測ります
- ・ストーマとまわりの皮膚を観察し、写真を撮ります(電子カルテに保存します)





この度、南奈良総合医療センターのリウマチ・運動器疾患センター長に就任させていただきました水塚貴満(もんどり たかみつ)と申します。

私の生まれ故郷である、この大淀町で地域医療に貢献できることを大変幸せに感じております。

南奈良総合医療センターの整形外科は、開院以来、小島康宜副院長を中心に、南和医療圏の外傷を一手に引き受け、地域医療に貢献してこられました。私自身もスタッフ一丸となって地域医療に邁進していく所存です。

それに加え、私の専門領域である肩・肘関節外科の充実を図りたいと考えています。奈良県における肩・肘関節の専門病院としての役割を少しでも担えるよう頑張っていく所存です。

肩・肘関節周囲の怪我や慢性的な病気に対する専門的知識と技術を駆使して、患者様への負担が少なく、最大の効果を得られる治療を心がけてまいります。肩・肘関節を専門とはしておりますが、“**肩・肘をはらない治療**”を心掛けて、日々の診療を行っておりますので、お気軽にご相談ください。

こんな症状でお困りの場合はご相談ください

- 肩が痛くて夜に何度も目が覚める
- 肩をあげるときに引っかかり感がある
- 最近衣服の着脱が困難になってきた
- 腕をあげるときに肩・肘関節でゴリゴリ音がする
- 物を持つときに肘に痛みが走る



手術になる代表的な疾患

肩関節

- ◆ 肩の筋肉の“すじ”がきれている状態
→ **腱板断裂**
- ◆ 関節の軟骨が擦り減っている状態
→ **変形性肩関節症**
- ◆ 関節リウマチが原因で関節が傷んでいる状態
→ **リウマチ性肩関節症**
- ◆ 繰り返し肩が抜ける状態
→ **反復性肩関節脱臼**
- ◆ **投球障害**

肘関節

- ◆ 関節の軟骨が擦り減っている状態
→ **変形性肘関節症**
- ◆ 関節リウマチが原因で関節が傷んでいる状態
→ **リウマチ性肘関節症**
- ◆ 肘の神経が麻痺している状態
→ **肘部管症候群**
- ◆ **テニス肘(上腕骨外側上顆炎)**
- ◆ **ゴルフ肘(上腕骨内側上顆炎)**
- ◆ **野球肘**

南奈良総合医療センター	〒638-8551	吉野郡大淀町大字福神8番1	電話: 0747-54-5000
吉野病院	〒639-3114	吉野郡吉野町大字丹治130番地の1	電話: 0746-32-4321
五條病院	〒637-8511	五條市野原西5丁目2番59号	電話: 0747-22-1112
南奈良看護専門学校	〒638-8561	吉野郡大淀町大字福神7番地の1	電話: 0747-54-5061
南奈良訪問看護ステーション	〒638-8551	吉野郡大淀町大字福神8番1	電話: 0747-54-5078